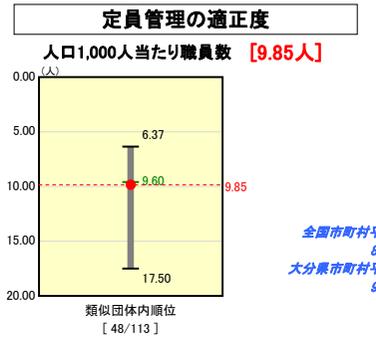
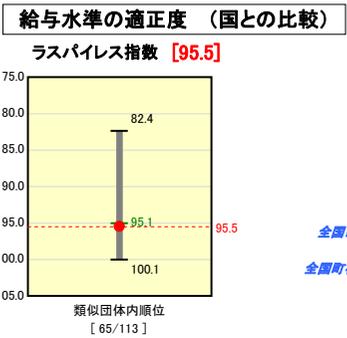
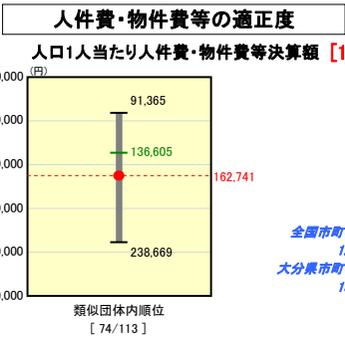
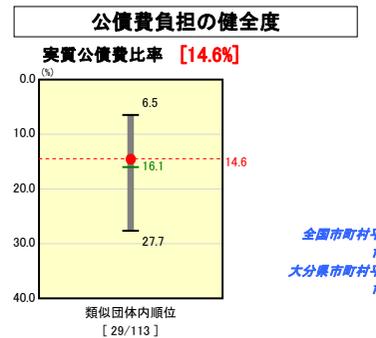
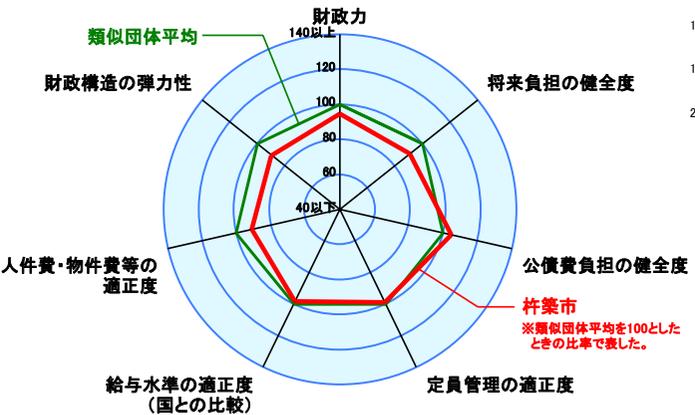
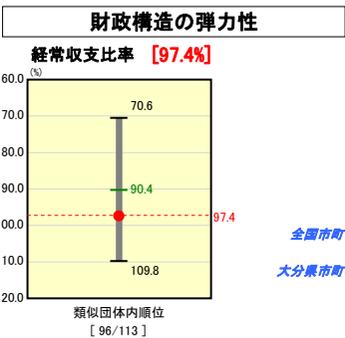
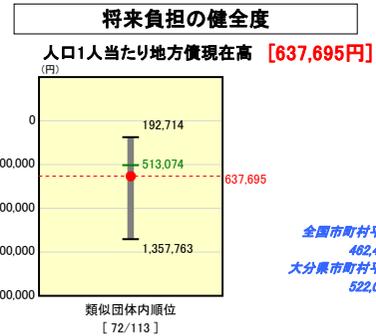
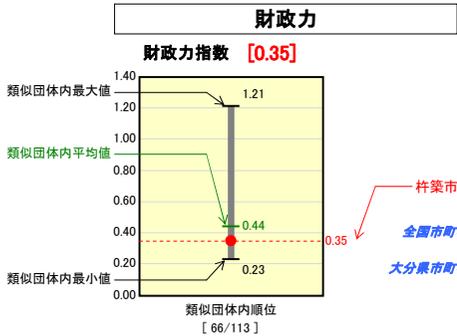


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

大分県 杵築市

人口	33,701	人(H18.3.31現在)
面積	280.01	km ²
歳入総額	18,237,714	千円
歳出総額	17,856,773	千円
実質収支	185,095	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

杵築市は、平成17年10月1日に旧杵築市と山香町、大田村が合併しました。平成17年度決算は旧3市町村と新市が合算された決算となっています。

【財政力指数】
固定資産税、個人住民税は若干増となりましたが、誘致企業等の収税が減少となり市税全体では、前年度比0.9%増となりました。今後は、企業誘致の推進、市税収納率の向上などを行います。

【経常収支比率】
類似団体平均値より7ポイント高くなっています。合併時の退職手当組込脱退清算金や合併業務による超過勤務手当の増などが原因と考えられる。今後は、平成18年度から実施している職員給料5%カットを引き続き行い、職員退職不補充による職員数の減、特別職の給料カット、収入役廃止(H18年度から)、議員数を46人から22人(H19年度から)にするなどにより比率を下げたいと思います。

【人件費・物件費等の適正度】
人口1人あたり人件費・物件費等額が類似団体より約3万円程度高くなっています。合併時の退職手当組込脱退清算金や勤奨退職者の増、超過勤務の増、また新市の電算システム開発費、電算リース料、議場改修費などが原因と考えられる。今後は、上述の人件費カットや臨時・嘱託職員についても職務内容・事務量の実態を調査し抑制するなどにより

一人あたりの額を下げていきます。

【ラスパイレス指数】
H18年度から職員給料5%カットの影響でほぼ類似団体並みとなっている。今後も引き続き行う。

【人口1人あたりの地方債現在高】
類似団体平均より124,641円高くなっている。ケーブルテレビ整備事業、文化体育館建設事業、観光交流施設整備事業などにより残高が増えています。今後、合併特例事業終了後は学校施設の統廃合を含めた義務教育施設整備、道路改修など事業限定し単年度借入額を11億円以下を目標とします。

【実質公債費比率】
類似団体平均値より1.4ポイント低くなっています。これは、地方債残高が高くなっているものの地方交付税措置の高い地方債が比較的多いのが原因ではないかと思われます。今後は、上述のように地方債借入額を抑制していき、下水道事業などの計画の見直しを行います。

【人口1,000人あたりの職員数】
類似団体平均より0.25人多くなっています。今後は、定員管理適正化計画によりH22年度までにH17年度337人を301人とします。